

会 議 録

名 称	令和2年度第3回坂戸市立小・中学校学区審議会
開催日時	令和2年11月1日(水) 15時00分 開会・ 16時10分 閉会
開催場所	坂戸市立中央公民館 3階 集会室
出席委員氏名	吉永 美晴、光地 英隆、石井 征子、栗原 初夫、星 光男、奥隅 一之、大川和彦、村田 優紀菅野 治恵、鹿ノ戸 久美子、山崎 英隆、藤野 真人 12名
欠席委員氏名	大川 泰弘 1名
傍聴者	2名
事務局職員職・氏名	教育長 安齊 敏雄、教育部長 清水 満夫、谷口 義明 次長兼社会教育課長 岡田 全弘、学校教育課長 小峰 大吾、同係長 関口 彰、同主任 梅沢 由梨、野澤 篤
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 (1) 坂戸市立城山小・中学校の通学区域について 4 その他 5 閉 会
配付資料	1 次 第 2 坂戸市立小・中学校学区審議会委員名簿 3 資料1 坂戸市立城山小・中学校の通学区域について 4 資料2 東松山市 特認校について 5 資料3 越生町 山村留学について 6 資料4 新聞記事(平成28年12月24日 埼玉新聞)
会 議 の 内 容	
発 言 者	発 言 内 容
教育長 会 長 事務局	1 開会 2 あいさつ (1) 菅野会長 3 議事 1) 坂戸市立城山小・中学校の通学区域について 資料に基づき、説明(学校教育課) 【審議内容】 前回出た意見を「①現行どおり(特認校制を導入しない)、②特認校制を導入する、③その他」の3つに分類した。 ① 現行どおり(特認校制を導入しない) ・送迎する際の西大家駅周辺道路が狭い。交通事情が不安。 ・特認校を導入しても、人数が増加する見込みがない。 ② 特認校制を導入する

	<ul style="list-style-type: none"> ・特認校制を初めて知った。興味がある。 ・城山小・中学校の児童生徒数が減少していく中で、地域に学校を残すことの重要性を考え、何か策を講じなければならない。 <p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模校からの受け入れ制限は、行きたくても行けない子が出てくるなど不公平。 ・英語教育の充実、地域大学等との連携、これまでの経験だけでは足りないため、城山学園の特色を改めて分析する必要がある。(地域の力を活用するなど) ・小規模校として魅力ある学校づくりを推進することが重要である。 ・空き家を有効活用し、「子育てするなら城山で！」を掲げ、地域で子どもを育てる体制を整備した方が良い。
委員	保護者及び地域の方への説明はしているのか。
事務局	特認校制導入という答申をいただいた後、保護者及び地域の方に説明を実施してまいりたいと考えております。
委員	地域に学校がなくなることは非常に問題である。何らかの形で学校を残すべき。
委員	通学方法は決まっているのか。
事務局	他市の状況を参考にしながら検討してまいりますが、特認校制を実施している近隣市町の状況を見ますと、保護者送迎が多い状況でございます。
委員	特認校制を導入するのならば、導入後の影響を検証し、通学方法など、改善できることがあれば実施していただきたい。
会長	これまでの議論を踏まえますと、「② 特認校制を導入する」が多くなっております。学区審議会として「② 特認校制を導入する」という方向性でよろしいでしょうか。
委員	異議なし。
会長	ありがとうございました。次回は、付帯事項の確認をしたうえで、答申文を決めたいと思います。よろしいでしょうか。
委員	異議なし

事務局	5 その他 次回の開催日等について説明（学校教育課）
事務局	6 閉会